



## インテリジェンスとコネクティビティが創りだす自動車産業

11月19日（月） 15:00～17:30

@汐留シティセンター6階 ユーザーコミュニティサロン  
プレゼンテーションルーム

進化する電気自動車やネットワーク、自動運転などの技術、シェアリングなどが自動車産業に革命を起こすとともに新たなモビリティを生み出すと予測されています。このような劇的な変化が起きている今、自動車産業の変革が求められます。

2018年10月にドイツのフリードリヒ・エーベルト財団（FES）が、ドイツの自動車産業の未来やメガトレンドを中心とした政策に関する内容と合わせて、モビリティにおける新たな協業の仕組み、組織文化や雇用のありかたを「ドイツの自動車産業の未来－「ドイツの自動車産業の未来－変化をもたらすのは「Disaster」か、「Design」か？」にまとめ、発表しました。

11月の日本語版発表に合わせ、著者であるレネー・ボアマン氏とボリス・ヴァイラオホ氏が来日し、ドイツや日本における自動車産業の未来やトレンド、富士通グループの未来の自動車産業における考え方や、共創パートナーと取り組んでいる新たなモビリティサービスを紹介するセミナーを開催いたします。

さらに、電気自動車の可能性を追求して新しい「発想」を織り込んだ超小型電気自動車を広く普及させるために開発に取り組んでおられます株式会社 FOMM 平川 三昭氏もお招きします。

ぜひご来場ください。



レネー・ボアマン 氏

[René Bormann]

フリードリヒ・エーベルト財団

経済・社会政策部 モビリティ政策分野  
責任者



ボリス・ヴァイラオホ 氏

[Dr. Boris Weirauch]

州議会議員

社会民主党バーデン＝ヴュルテンベルク  
州議会党派 経済政策広報担当



平川 三昭氏

株式会社 FOMM

先行開発室室長（自動運転技術）



廣川 幸男

富士通株式会社

Mobilityシステム事業本部

MaaS事業部 シニアエキスパート



マルティン・シュルツ [モデレーター]

株式会社富士通総研 経済研究所

上席主任研究員

セミナーのお申込みは、下記URLからお願いします。【11/14（水）申込〆切】

<http://www.fujitsu.com/jp/vision/insights/201811event/>